

# 市政に対する

## 一般質問

今定例会では、12人の議員が2月23日、24日、25日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

**一般質問**とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

### 宮杉勝男議員

- デマンド交通システムについて

### 小林啓子議員

- 「幸手市デマンド交通」について
- 「移動式赤ちゃんの駅」の導入について

### 本田謡子議員

- 子どもの教育について
- 小中学校の机について
- 小中学校のエアコン設置について
- 市の防災訓練について

### 大平泰二議員

- 市税の納付について
- 安心・安全なまちづくり
- 幸手市都市公園等指定管理者
- 橋上駅舎建設

### 青木章議員

- ユニバーサルデザインのまちづくりについて
- 橋上駅舎のデザイン等について
- 交通行政について
- 圏央道について

### 中村孝子議員

- 幸手市教育大綱について
- 公共施設のトイレ洋式化について

### 小林順一議員

- 災害廃棄物処理計画の策定推進について
- 悩みのある若者への支援の充実について

### 松田雅代議員

- 地域包括ケアシステムの構築について
- 地区市民センターの運用について
- 「地方創生総合戦略」の推進体制について

### 小河原浩和議員

- 公民館の活性化について
- 3回目の成人式について

### 巻島幸男議員

- 防犯カメラの設置再検討について
- 治水・水害対策について
- 市民へのお知らせ・アナウンスの方法について

### 木村治夫議員

- 幸手中央地区産業団地進出企業への地元雇用について
- 交通利便性の向上について
- 道路網の整備について
- 国の総合戦略、地方版総合戦略について

### 武藤寿男議員

- 幸手市都市公園等の指定者管理業務について
- 都市公園等の指定管理業務の管理状況と経理内容について

### 3月定例会

傍聴者			
65の方が傍聴されました。			
議会インターネット中継のアクセス件数			
インターネットを利用した議会中継（ライブ及び録画）を行っております。			
1月	396件	2月 2143件	3月 1253件
の方が視聴されました。			

### 6月定例会のお知らせ

6月1日開会予定です。  
詳しくはホームページをご覧ください。  
<http://www.city.satte.lg.jp/>

議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

### 議会を傍聴しませんか

3月定例会 会期日程	
2月22日（本会議）	・ 開会・会期の決定・報告事項
・ 市長提出議案一括上程、提案理由説明	
2月23日・24日・25日（本会議）	・ 市政に対する一般質問
3月2日（本会議）	・ 議案に対する質疑
・ 議案の委員会付託	
3月3日・4日・11日・18日（委員会）	・ 文教厚生常任委員会
3月7日（委員会）	・ 総務常任委員会
3月9日・10日・11日・18日（委員会）	・ 建設経済常任委員会
3月18日（本会議）	・ 委員長報告、質疑、討論、採決
・ 閉会	

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ（インターネット映像配信システム）でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 3月定例会の会議録は6月上旬頃公開予定です。

デマンド交通システム開始にあたって



宮杉勝男議員

**Q** (1) 推定していた運賃収入と比較した結果を伺う。

(2) 循環バスと比較した場合運賃が5倍の設定は高いと感じる、交通弱者救済の観点からも60才以上の方の割引を、老人福祉センターだけでなく、市の公共施設とならないか伺う。

(3) 市民の皆様からの様々な要望に応えるために、現在のシス

テムでは賄えない部分を予約センターよりタクシーを手配し相乗りにて対応できるように、市内タクシー業者に対し協力を依頼する事はできないか伺う。

のなので、当面は現状の運賃で実施したい。  
(3) 検討の余地もあるが、財政的な問題もある。慎重に対応したい。

(市長・市民生活部長)



**A** (1) 運賃収入は、平成27年10月から平成28年1月末までの4か月間で約150万円を推定していたが、実績は71万4350円であった。

(2) 運賃は、民業を圧迫しないように配慮した上で設定したも

「移動式赤ちゃんの駅」の導入をしては



小林啓子議員

**Q** 子育てしやすい街づくりとして乳幼児の授乳やおむつ替えができるテント「移動式赤ちゃんの駅」を幸手市として、イベント等に無料貸出を導入してはどうか伺う。

防災備品としても必要と考えるが、その点についても伺う。

**A** 市内で開催される子育てのイベントや子育てグループなどの団体から「移動式赤ちゃんの駅」として、授乳やおむつ替えをするためのテントの貸し出しの要望がある際は、子育て支援課で無料貸出を行っていく。

また、避難所で授乳やおむつ替えを行う際には、周囲から目隠しをする必要

があるため、防災備品として各避難所にテントを一張りずつ配備する。このテントについては、防災安全課で授乳・おむつ替え用テントとしてイベント等に貸し出しする。

(健康福祉部長・市民生活部長)



市の防災訓練の前進を



本田謡子議員

**Q** 毎年おこなわれる市の防災訓練は、地域のみなさんの避難訓練から始まる。指定避難所のグラウンドに集まるが、そこまでである。

災害は待つてはくれない。平時、そこは子どもたちのいる学校である。だからこそ、市・地域・学校が一体となった避難所開設訓練を早急にすべきと考

**A** 大規模災害時に、住宅の倒壊などにより自宅での生活が不可能となった場合には、避難所での生活を強いられる。この避難所を市と住民が協力して、円滑に開設するためには、避難所開設訓練が必要になると考える。

今年度を実施した市の防災訓練は、権現堂川小学校で負傷者

えるが、市の今後の見通しを伺う。

救出訓練や炊き出し訓練、初期消火訓練などを行なった。10月に行う市の防災訓練については、学校や地域の方々とも話し合いながら、避難所開設訓練を取り入れて実施したい。

(市民生活部長)



水害対策の不備 早急な解決を



大平泰二議員

**Q** 倉松川につながる排水口(4号線の西側)には止水設備がなく、倉松川の水位上昇にもなう逆流が、東地区の水害の一因となっている。

市がこのことを把握していなかったことに対する見解と緊急対策としての逆流防止対策(角落の設置)が必要ではないか。

**A** 国道4号を横断する水路の存在については本年度調査により把握をした。倉松川の水位上昇にもない国道4号西側の水路から、この横断部を経由し東地区へ影響しているものと考えられ、重要な問題であると認識している。逆流防止対策として、国道4号西側の排水口に早急にフラップゲートの設置を行いたい。

(建設経済部長)



## ユニバーサルデザインを取り入れた市役所



青木章議員

**Q** 市役所入口が、車優先と  
なっており、歩行者や自  
転車はどこを通過して市役所玄関  
に入って良いのか分からず危険  
である。そこで、市役所入り口  
左側にユニバーサルデザイン  
の考えを取り入れた「歩行者、  
自転車用レーン」を設置して安  
全に通行できるようにしたら良  
いと思うが、市の対応を伺う。

ユニバーサルデザインとは「  
すべての人のためのデザイン」  
を意味し、年齢や障がいの有無  
にかかわらず、できるだけ多く  
の人が利用可能であるようデザ  
インすること。

**A** 市では、ユニバーサルデ  
ザインについては意識し  
て取り組んでいるところである  
が、市役所の入口（正門）から  
建物までは車道と歩道の区別が  
ないことから、歩行者にとって

危険な状況  
にあること  
は認識して  
いるところ  
である。  
市民が安心  
して市役所  
を訪れるこ  
とができる  
よう、現況をあらためて確認す  
るとともに、歩道等の確保に向  
けた対応に取り組む。



ユニバーサルデザインを取り入れた市内企業

（総務部長）

## 幸手市の教育は何を目指すのか



中村孝子議員

**Q** 地方教育行政の法改正に  
より平成27年12月に、市  
長が幸手市教育大綱を策定した。  
この間、教育委員会ではどのよ  
うに協議されたのか。また、こ  
の大綱により幸手市の教育は何  
を目指し、どう取り組むのか伺  
う。

**A** 教育委員会定例会と総合  
教育会議を含めて全5回  
の協議を行い、最終的には市長  
が示した基本理念をもとに、幸  
手市総合振興計画との整合を図  
る形で合意し、市長が策定した。  
国・県の目指す教育を的確に把  
握するとともに、幸手市の現状  
を踏まえながら教育大綱の基本  
理念にのっとり、基本目標の達  
成を目指していく。

今後も、学校・家庭・地域と  
の連携・協働を充実し、子ども

の生きる力の育成と生涯学習環  
境づくりに取り組んでいく。

（教育長）





災害廃棄物処理計画の策定を



小林順一議員

**Q** 近年、膨大な廃棄物をもたらず大規模な自然災害が頻発しており、幸手市も昨年

9月、近年にない被害が発生し、東日本大震災の教訓を踏まえ、切れ間なく災害対策を実施・強化しなければなりません。幸手市では災害廃棄物処理はどのように行われているのか伺う。また、被災後の市内業者・

県内業者・諸団体との協議はなされているのか伺う。幸手市も速やかに災害廃棄物処理計画策定を提案するが所見を伺う。

**A** 昨年9月の豪雨の際には、戸別回収を中心にひばりヶ丘桜泉園内に搬入し、種類に応じて処理・処分を進めている。

また、水害ごみの収集や処分については、各業者との協議、調整を行った。幸手市では対応で

きない場合、埼玉県および市町村等と締結している相互支援協定による処理も可能である。

災害廃棄物処理計画は、地域防災計画の中に盛り込まれているが、様々な災害に対応できるような計画を、先進自治体の情報を収集し検討していく。

(市民生活部長)



若者指標のない若者対策で実行性は上がるか



松田雅代議員

**Q** 3月末に「幸手市まち・ひと・しごと総合戦略」が策定されるが、総合戦略の5年間の計画期間のうち、今年度は計画を立てるために費やし、残る4年で成果を出さなければ

ならない。4月から一斉にスタートできる体制になっているか。総合戦略の策定に先がけてま

とめられた「幸手市人口ビジョン」は若者の転出抑制や若者が住みたいまちを標榜するが、雇用創出や定住化、新規就農者への支援などに若者対策の目標が少なすぎる。実行性のある目標を。

**A** 「幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進にあたっては、庁内組織としての幸手市人口問題対策会議を

中心とし、総務部が進捗管理を

行うとともに、外部の有識者等による幸手市まち・ひと・しごと創生市民会議で、委員のご意見を頂戴しながら成果の客観的な検証を行っていく。

また、目標については、庁内での検討を行ったうえで、若者対策だけにとどまらず、広く戦略的にとりまとめたものと考えている。

(総務部長)



3回目の成人式で地域活性化のきっかけ作り



小河原浩和議員

**Q** 高齢社会を迎え、市民の皆さんに生きがいをもって元気に過ごしていただく事が重要と思う。また、様々な経験や知識、人脈を持った方々をお迎えして、地域で活躍いただければ、幸手市の活性化にもつながると思う。

そこで、定年退職を迎えられ60歳の方達を対象にこれまで

の人生をお祝いし、地域で第二の人生をスタートしていただくきっかけとして、一部の自治体で「3回目の成人式」などを行っている。幸手市にとっても有効な手段と考えるが、市の考えを伺う。

**A** 60歳は一般的に人生の節目にあたるが、まだまだ

気力・体力ともに充実し、社会において十分に活躍できる年齢である。



この世代が地域活動に参加すれば、地域の活性化や生涯学習の振興に効果が期待できる。

「3回目の成人式」

は、地域との結びつきが弱かった人たちが、地域に目を向けるきっかけとなり、参加者の生きがいづくりにつながると思われることから、先進事例などを参考に今後検討していきたい。

(教育次長)

治水・水害対策の計画状況は



巻島幸男議員

**Q** 人口流出、定住対策、そして何よりも市民のみなさんが安心して暮らせる街づくりに、水害対策は優先的に改善、解決されなければならない問題。

12月の一般質問で多くの治水・水害対策の質問があったが、その後の状況として次の点を伺う。

(1) 実施が具体化してきた計画を伺う。  
(2) 方向性が計画されてきた計画を伺う。  
(3) 今後さらに取り組んでいく対策を伺う。

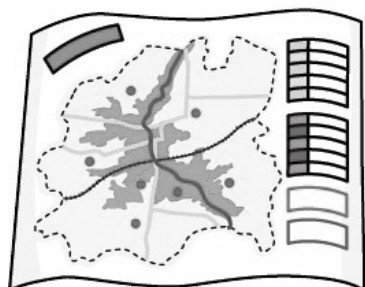
(1) 実施が具体化してきた計画を伺う。

**A** 12月議会以降、具体的な計画はまだないが、調節池の整備が必要ではないかという方向性は見出している。今後は埼玉県と河川・下水道事業調整協議会による協議を行い、最

終的には「1000ミリ安心プラン」の登録申請をし、整備を行っていききたい。

(建設経済部長)

ハザードマップ



幸手産業団地進出企業への市民雇用対策は



木村治夫議員

**Q** 幸手市中央地区産業団地進出企業への県企業局から用地引渡しを開始されたが、進出企業との連携とともに、市内中小零細企業に対して企業競争力の向上や安定した経営に向けた具体的支援について伺う。

また、進出企業へ市民が働くことができる場を確保する雇用対象の具体的方策について伺う。

そして、人口の現状と将来を展望する「幸手市人口ビジョン」を展開するうえで、若者・女性や高齢者など働く意欲の高い人への就労支援策について伺う。

**A** 中小企業の企業競争力が向上し経営が安定するのと

とで、雇用も安定するものと考えている。国において「小規模企業振興基本法」ほか関係法令が制定された。この法令の目的に則り、商工会が中心となり行

政機関や金融機関などが連携して、それぞれの課題に応じたきめ細かな支援を図っていく考えである。

また、産業団地進出企業が市民の方を雇用した場合には奨励金を出す条例を制定している。今後もハローワークに協力を得ながら雇用対策を進めていく。

(建設経済部長)



管理事務所を総合公園内に置かないのか



武藤壽男議員

**Q** 管理事務所は維持管理の拠点であり、また、市民協働の拠点と位置づけ、利用者へのサービス提供および情報発信を行うもの、とすることから業務を遂行するに当たり、幸手総合公園内の施設に管理事務所設けること、と業務仕様書、事業計画書に定められている。

しかし、最初はB&Gに置い

たものの、北二丁目の代表団体の事務所に同居させ、多数の駐車場を借りるなどしたことは、明らかに約束違反であり、また、市民サービス上問題ではないか。

**A** 当初の管理事務所については、B&G海洋センター内に設置していたが、公園の巡回清掃・点検や植栽管理の各

作業員と日々の打合わせを行うには、事務所が手狭だったため、代表団体の事務所への移転を口

頭で了承したものである。

しかし、利用者への利便性の観点から統括責任者をB&G海洋センター内で管理運営を行うように戻させたところである。

また、駐車場についても、経費削減の観点から、必要最小減にさせていきたいと考えている。

(建設経済部長)

